

# 天文学と プラネタリウム

第34回



今月のお題

## 天プラ あすとろかるた大会



お正月の遊びといえばカルタです。古き良き日本の伝統と最先端天文学の華麗なる融合をお楽しみあれ。



www.tenpla.net

高梨直紘 (東大D2/天文学教育研究センター所属)

平松正顕 (東大D2/国立天文台ALMA推進室所属)

### 2007年新春 天文初め

天プラ・プロジェクトNo. 005「あすとろかるた」が、昨年6月に完成したことは本誌9月号でもお知らせしました。でも、カルタといえばやはりお正月。というわけで、天プラでは今年のお正月にカルタ大会を開催しました。参加者は10名ほど。カルタを広げたテーブルを囲んで、いざスタート、です。「電波は任せろ!」「遠方天体は私が!」参加者にはそれぞれ自分の得意分野があるようですが、百人一首など他のカルタと同様、確実に取れる札をいかに多く覚えておくかが勝負のカギになります。なんと勉強になるカルタなんでしょう!さらに、札を取ったらいちいち裏面の解説を読み上げることにしました。天文初心者の参加者でも、「ああそういう天体のことなのか」と納得のひとコマです。

### あすとろかるた大会、徳島でも

あすたむらんど徳島の子ども科学館では、正月三が日にあすとろかるた大会を開催していた

だきました。本格的に科学館で使っていたのは今回が初めてだったので、参加される方のように受け入れてもらえるのが少し不安もあったのですが、「大人も子どもも楽しめた」など、好意的な感想もたくさんいただきました。

カルタの句は専門的な内容がちりばめられていますが、「超新星」や「マグネター」等、子どもたちの心をくすぐりそうな言葉も満載です。遊びを通して天文学に触れ合いながら、天文学や科学に興味を持ってもらえればと思います。

また、このカルタ大会では、ウェブで配布しているものを2倍に拡大して使っていただきました。こうすることで、よりゆったりとしたスペースで多くの方が楽しんでいただけたようです。ゆくゆくは天プラでも、A3サイズくらいのカードを用意して、体育館で走り回って楽しめるような大カルタ大会も開催してみたいものです。

皆さんも、あすとろかるたプロジェクトページ ([http://www.tenpla.net/project/karuta/karuta\\_dl.html](http://www.tenpla.net/project/karuta/karuta_dl.html)) からダウンロードして、ぜひ遊んでみてください。科学館・プラネタリウムでイベントに使ってみたいという方もぜひ。



白熱(?)するカルタの奪い合い。勝つための秘訣は、天文学に精通することです。



11月に日本科学未来館で開催されたワークショップでATPを紹介する平松。高梨は今月すっかり疲労困憊で写真がありません…